

国語・算数科学習指導案【知的障害を併せ有する児童の教育課程】

日 時 令和〇年〇月〇日(〇)  
 6 校時 13:40～14:25  
 学校名 特別支援学校  
 対 象 小低4 学習グループ 4 名  
 会 場 教室  
 授業者 ○○ ○○  
 ○○ ○○ (T2)  
 学校介護職員 ○○ ○○ (C1)

1 単元名

はらぺこあおむし～おなじのはどれ?～ (使用教材『はらぺこあおむし』エリック・カール作)

2 単元の目標

- ・絵本や友達の活動に注目したり、聞いたりする。
- ・指示された食べ物の絵や単語を選んだり、単語を構成したりする。
- ・体験的な活動を通して、物語の内容を理解する。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①見本と同じ絵や文字を選ぶことができる。 ②絵本に出てくる食べ物の絵や文字を選んだり並べ替えたりすることができる。	①食べ物の名称を読んだり、教職員と一緒に身振り等で表したりする。 ②教職員の質問を聞き、答えとなる絵カードを選択している。	①絵本の読み聞かせや友達の活動に注目している。 ②学習した内容を、前に出て発表をする。

4 指導観

(1) 単元観

本単元は、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示）

<p>〔国語〕 2 各段階の目標及び内容</p> <p>○1段階</p> <p>(2) 内容</p> <p>〔知識及び技能〕</p> <p>ア(イ)言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。</p> <p>イ(エ)読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味を持つこと。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>A 聞くこと・話すこと</p> <p>ア 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすること。</p> <p>イ 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。</p> <p>C 読むこと</p> <p>ア 教員と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目すること。</p> <p>エ 絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。</p> <p>○2段階</p> <p>(2) 内容</p> <p>〔知識及び技能〕</p> <p>ア(イ)日常生活でよく使われているひらがなを読むこと。</p>
--

(エ) 読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつこと。

[思考力、判断力、表現力等]

A 聞くこと・話すこと

ア 身近な人の話に触れ、簡単な事柄と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすること。

イ 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。

エ 挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすること。

B 書くこと

イ 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単なひらがなをなぞったり、書いたりすること。

C 読むこと

ア 教員と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。

エ 絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすること。

特別支援小学部・中学部学習指導要領第7章 自立活動の内容

4 環境の把握

(5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。

6 コミュニケーション

(2) 言語の受容と表出に関すること。

(3) 言語の形成と活用に関すること。

を受けて設定した。

本単元では、絵本に出てきた食べ物の絵や文字を使用し、同じの概念形成と一文字や単語構成の学習内容を取り入れている。その内容で重視したことは三つあり、興味をもって読み聞かせを見聞きし、体験的活動を通して物語の内容理解を深めること、個々の課題に取り組み、学習した成果を発表することで互いに意識し合うこと、絵や文字カードを選択し、同じであることが分かることである。本単元での学習を、さらに個別学習の時間で学習を積み重ね、平仮名の文字の定着や、日常生活で必要となる語彙を増やすことにもつなげていく。

また、本学習グループの現在の様子として、第1学年は、4月に入学したばかりで学習や集団活動に取り組み始めた段階である。第3学年においては、昨年度もグループ学習で文字の学習や児童同士のやり取りを積み重ねてきたが、他児童の取り組みへの意識の継続や集中の持続に課題がみられた。そのため、本学習グループの児童が興味をもち、親しみやすい絵本を題材とすることによって集団学習への意欲を高め、お互いに意識し合い学力向上へと結び付けていきたいと考え、本単元を設定した。

(2) 児童観

本学習グループは、小学部第1学年2名、第3学年2名の知的障害を併せ有する児童の教育課程の4名で構成している。

身体的機能面では、移動において独歩の児童や介助歩行が可能な児童、全面介助の児童がいる。手の操作性では、つかむ、握る等の操作ができる児童から手指及び腕の介助が必要な児童がいる。また、気管切開等をしており、たんの吸引等の医療的ケアが必要な児童が1名いる。人工呼吸器があり、呼吸状態の細心の注意を払いながら学習を行う必要もある。視覚面では、眼鏡を掛けている児童が1名、視野が狭く手元を注視することが難しい児童が1名いる。学習集団としては、授業者や提示物に注目できているが、視力が弱い児童には個別での提示が必要である。聴覚面では、補聴器を使用している児童が1名いるが、日常会話や授業者の指示は聞きとることができている。

学習面では、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示）〔国語〕の第1段階から第2段階を学習している児童が在籍している学習グループである。平仮名を学習している児童が1名、今後平仮名の学習を進めていく児童が1名、絵カードを使ったマッチングの学習が中心課題の児童が2名である。

認知面では、簡単な言語指示においては理解できている。

コミュニケーション面では、自身の考えを言葉で伝えられる児童や、不明瞭ながら3語文を話す児童、単語や発声、喃語、指さし、サイン、身振り等で自らの意思を伝えることができる児童がいるが、発表の場面においては恥ずかしさや緊張等から難しい児童もいるため、教職員が発表した内容を共有したり、児童と一緒に発表したりする。

社会性については、多くの児童は身近な教職員との関わりが多く、現段階では、教職員を介して友達と関わることを学習中である。より、他者への興味や関心をもち友達の活動に意識を向けられるようになることが課題である。

全体としては、学習意欲もあり、教職員と積極的にコミュニケーションをとろうとする集団であるが、文章で話されたことを正確に聞き取る、分かりやすい表現で相手に意志を伝える、ということに課題がある。そのため、読む、書く、数えるといった基礎的な学習を丁寧に進め、また集団の中でお互いの考えを伝え合う場面を設定する中で、周囲の人や物への理解を深め、社会性を高めていくことが必要な集団である。

### (3) 教材観

本単元では、絵本の読み聞かせと、絵や文字のマッチング、単語構成等の個別学習、教員からの問いに答え、選択する体験的活動の3つの活動を行う。

絵本の読み聞かせでは、歌に合わせてページをめくり、興味をもって話を見聞きできるようにした。

個別学習においては、それぞれの児童の実態に合わせて使用する絵カードや文字カード、手元で操作できる大きさのものや、磁石で固定できるものなどの工夫をした。

体験的活動においては、あおむしになる被り物を使用し、絵本に出てくるあおむしになりきって課題に取り組むことができるようにした。指示された食べ物を食べる活動では、押す、引っ張る等の自分の力で操作できるような食べ物パネルを用いて、達成感を感じられるようにした。

さらに、使用する個別学習の教材や、あおむしの被り物は1人ずつ準備し、感染症対策を徹底している。

## 5 年間指導計画における位置付け

国語・算数では、基礎的な文字に関する知識、数や数量の概念形成の定着をねらいとし、児童の実態に合わせて個別学習を行っている。個別学習を踏まえての集団学習では、児童自身の考えや思いを発表し、他者の発表をよく聞くこと等、他児童を意識して、決まりを守って学習する態度を身に付けることや友達との会話を通して知識を広げていくことをねらいとしている。

また、単元ごとに、国語的内容が中心となる学習、算数的内容が中心となる学習を設定し、国語・算数の授業の中で、個別学習や集団学習で国語科、算数科の学力の定着を図るようにしている。

今学期は、第1学年は絵本読みや友達の活動を意識し学習することで、集団学習の基礎を養い、第3学年においては、既習した内容を集団学習で発揮することを目標とし、第2、3学期へと繋げていきたい。

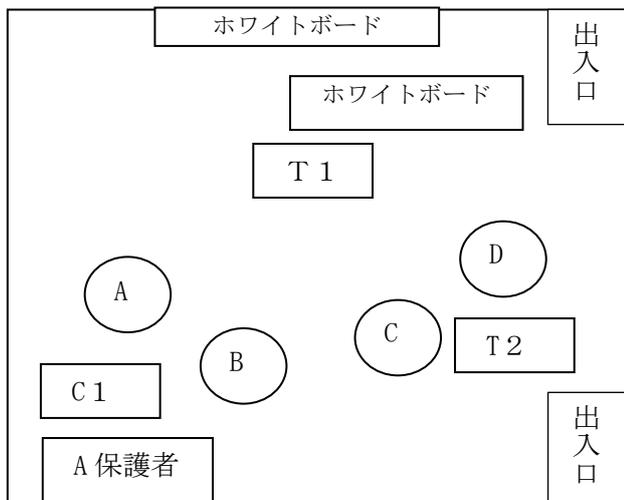
	月	学習内容	学習のねらい
第1学期	4月	はらぺこあおむし～お	・絵本や友達の活動に注目したり、聞いたりする。 ・指示された食べ物の絵や単語を選んだり、単語を構成したりする。 ・体験的な活動を通して、物語の内容を理解する。
	5月	なじのはどれ?～	
	6月		
	7月	かぞえておぼえるかず のえほん	・絵本や友達の発表に注目したり、聞いたりする。 ・数唱や数量の理解を深める。
第2学期	9月		・絵本や友達の発表に注目したり、聞いたりする。 ・絵と文字のマッチングや単語を構成する。
	10月		
	11月	おべんとうばす	
	12月		
第3学期	1月	ブレーメンのおんがく	・絵本や友達の発表に注目し、見たり聞いたりする。 ・話の内容を理解し、台詞を言ったり、身振りで表現したりする。
	2月	たい	
	3月		

## 6 単元の指導計画と評価計画(全10時間)

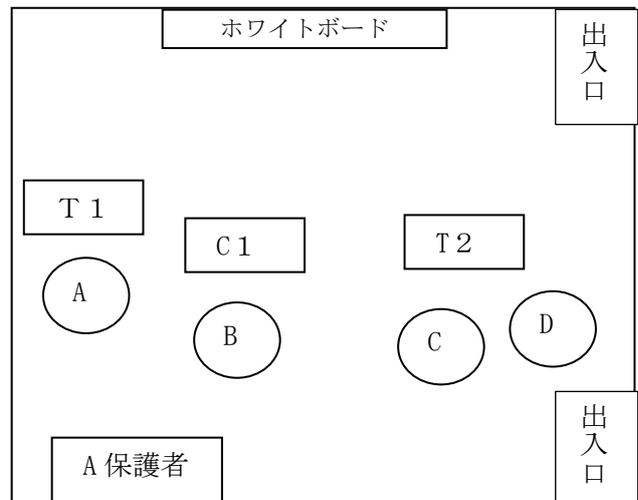
次	時	目標	○ 学習内容 ・ 学習活動	評価規準(評価方法)		
				ア	イ	ウ
第1次	第1時 第2時 (本時) 第3時 第4時	・絵本の読み聞かせに注目したり、聞いたりする。 ・絵本に出てくる絵や文字に親しみ、見本と同じカードを選択する。	○絵本の読み聞かせ ・話を見聞きする。 ○個別学習 ・絵や文字のマッチング ○やってみよう ・個別学習の成果を発表する。 ○あおむしになろう ・見本と同じ絵カードの食べ物を選択する。		①(行動観察)	①(行動観察) ②(行動観察)
	第5時 第6時 第7時	・絵本の読み聞かせや友達の活動に注目したり、聞いたりする。 ・平仮名の一文字を理解したり、単語を構成したりする。	○絵本の読み聞かせ ・話を見聞きする。 ○個別学習 ・絵や文字のマッチング、単語構成 ○やってみよう ・個別学習の成果を発表する。 ○あおむしになろう ・見本と同じ絵カードの食べ物を選択する。	①(行動観察)		①(行動観察) ②(行動観察)
第3次	第8時 第9時 第10時	・読み聞かせや友達の活動に興味をもって見聞きする。 ・平仮名の一文字を理解したり、単語を構成したりする。 ・体験的活動を通して、物語の内容の理解を深める。	○絵本の読み聞かせ ・話を見聞きする。 ○個別学習 ・絵や文字のマッチング、単語構成 ○やってみよう ・個別学習の成果を発表する。 ○あおむしになろう ・見本と同じ絵カードの食べ物を選択する。	①(行動観察) ②(行動観察)	②(行動観察)	

## 7 配置図

○集団学習(挨拶、読み聞かせ、再現活動)



○個別学習



## 8 指導に当たって

### (1) 環境設定の工夫

- ・各課題に取り組む場所を固定し、児童が移動しやすくする。

### (2) 授業展開の工夫

- ・本時の中心課題を「がんばりぼいんと」として導入で児童に伝えることで、児童の学習への意欲を引き出すことができるようにする。
- ・読み聞かせ後に課題で使用する食べ物と名称を確認し、本時で取り扱う食べ物を意識できるようにする。
- ・個別学習した内容をもう一度前に出て発表する場面を設定し、学習の定着を図ることと、友達が学習した内容に関心を向けることをねらいとしている。

### (3) 教材の工夫

- ・個別課題に関しては、本時の課題となる教材を児童1人ずつ準備して学習する。実態に応じて、具体物、絵カード、単語カード、一文字カード等を使用する。
- ・食べ物のパネルは、押す、引っ張る等の動きで食べ物に穴があくようにして、達成感を感じられるようにした。
- ・物語の世界観を体感できるよう、あおむしの被り物を作成し、再現活動で使用する。

## 9 本時(全10時間中の第2時)

### (1) 本時の目標

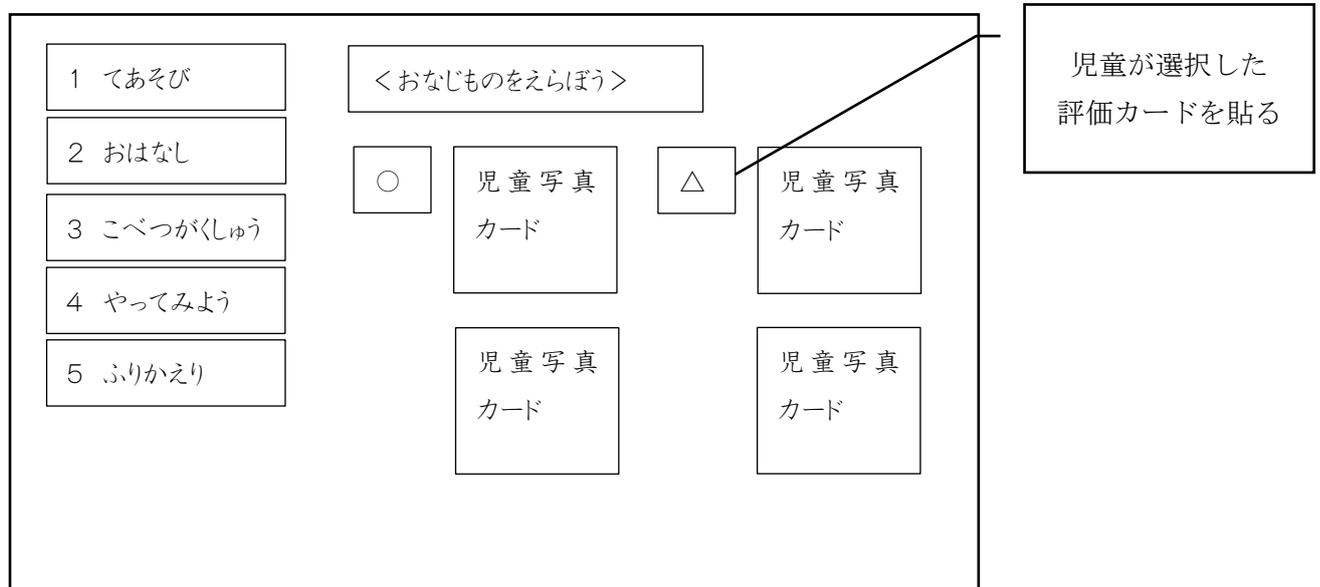
- ・絵本の読み聞かせに注目したり、聞いたりする。
- ・絵本に出てくる絵や文字に親しみ、見本と同じカードを選択する。

### (2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	指導上の留意点 配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 10分	○始めの挨拶 ・姿勢を整え、学習の始まりを意識する。 ○本時の学習内容の確認 ・予定カードに注目し、学習内容に見通しをもつ。 ○本時の「がんばりぼいんと」の確認 ・「がんばりぼいんと」を聞く。 <おなじものをえらぼう> ○手遊び ・「はじまるよ」の手遊びで1から5までの数字を意識する。 ・手指を動かし、課題に取り組む準備体操をする。 ○絵本の読み聞かせ ・「はらぺこあおむし」の読み聞かせを見聞きする。	・全員が注目しているか確認をしてから挨拶をする。 ・予定カードに注目できるよう、姿勢を整える。 ・全員で声を揃えて言い、本時の中心課題を意識できるようにする。 ・1から5までの数字カードを提示し、数を意識できるようにする。 ・自分でできる動きを促したり、指先をしっかりと動かし、手指の操作性を引き出したりする。 ・大型絵本に注目できるよう隊形を整える。	イ①(行動観察) ウ①(行動観察)
展開 15分	○果物の確認 ・絵本に出てきた5種類の果物の絵と文字に注目する。 ○個別学習 ・個別の課題に取り組む。 ・絵カードのマッチングや平仮名	・児童一人一人が注目できるように提示をする。 ・カードを定提示した後に間を持たせ児童の表出を促すようにする。 ・課題が終わったら、T1へ報告するようにする。	イ①(行動観察) イ①(行動観察)

	の確認、単語構成などの学習をする。	・課題が終わった児童から、始まりの隊形に整列するようにする。	
展開 13分	○再現活動 ・あおむしの被り物を身に付け、あおむしに変身する。 ・お題となる絵カードと同じ食べ物パネルを選び、パネルに穴をあける。 ・最後はちょうちょうになりきり、物語の世界観を体感する。	・被り物を身に付けた児童から、タブレット端末で自分の姿を確認し、意欲を引き出す。 ・手本を示し、活動への見通しをもてるようにする。	ウ①(行動観察)
まとめ 7分	○学習の振り返り ・本時の学習した内容を振り返る。 ・花丸、○、△からカードを選択し、自己評価をする。  ○次時の学習の確認 ・次時の学習課題を聞く。  ○終わりの挨拶 ・姿勢を整え、学習の終わりを意識する。	・使用した絵カードを提示し、食べ物の名称と平仮名の振り返りができるようにする。 ・児童自身が評価をする場面を設定し、次時への課題につなげていけるようにする。  ・全員が注目していることを確認してから、挨拶をする。	

### (3) 板書計画



### (4) 授業観察の視点

#### <目標>

- ・本時の目標や、児童一人一人の目標の設定は、実態に応じて適切であったか。

#### <展開>

- ・時間の配分は適切であったか。
- ・本時の目標を達成するための学習活動となっていたか。
- ・児童の意思を尊重した授業、関わりができていたか。
- ・個々の障害の状態等に応じた指導や教材を用いて授業ができていたか。